

平成 30 年度社会実装教育フォーラム開催要項(案)

～社会実装×高専生で新たな価値を創る～

1. 趣 旨:

「社会実装教育」とは、学生が仲間と互いの強みを活かし、ユーザ等と共創しながら現実の課題を解決する画期的なエンジニアリング・デザイン(以下、「ED」と表記する)教育です。モデルコアカリキュラムにおける ED 教育のモデルケースとも言えます。

「社会実装教育フォーラム」とは、学生が課題解決に取り組む、新しい価値を生み出し、その成果を発表する場です。活動を通じて、知的好奇心を全開にして、主体的に必要な知見を求め、吸収し、野心的に未来を切り開く力を修得することでしょう。

一方、学生にとって、本フォーラムは、単に成果を競うだけの場ではなく、専門家(審査員)からの確かな評価を得る場となります。さらに、教員にとっても、理想的な ED 教育を探究する格好の機会となります。

文部科学省大学間連携共同教育推進事業「KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト」の成果を基に、より深化した学生の ED 能力の育成と、理想的な ED 教育の探究を目標に、本フォーラムを開催します。

是非、ご参加いただきますよう、ここにお願ひ申し上げます。

2. 主 催:

東京工業高等専門学校

3. 共 催:

一関工業高等専門学校
小山工業高等専門学校

4. 後 援:

東京高専技術懇談会(予定)
八王子商工会議所
相模原商工会議所

5. 日 時:平成 31 年 3 月 1 日(金)・2 日(土)

6. 会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
TEL:03-3469-2525 URL:<https://nyc.niye.go.jp/>

7. 参加対象及び条件等:

- (1) 参加対象は高専生とします。
- (2) 社会(または企業)の課題をテーマとします。
- (3) 卒業研究・特別研究等の授業で取り組んだテーマも可とします。
- (4) 企業(またはユーザ)との共創を推奨します。

(5) チーム内で役割分担を明確化することを推奨します(例えば、技術責任者、財務責任者、コミュニケーション責任者等の役割等)。

8. チーム構成:1チームの構成は、学生1～6名とします(指導教員1名がチームを引率してください)。

9. 実施方法:

- (1) 課題解決に向け、社会実装プロセス(またはその一部)を試み、その取組内容を発表します。取組内容をコンテスト形式で競います。また、9 月末に到達目標・取組概要(600 字程度)を提出いただきます。
- (2) 初日(3/1)は、一次審査としてショートオーラル発表とポスター発表を実施し、上位 8 チームが二次審査に進みます。
- (3) 2 日目(3/2)は、二次審査としてファイナル発表を実施し、優秀チームを表彰します。

10. 表 彰:

- (1) 社会実装大賞(1チーム)
- (2) その他の賞(複数チーム)

11. 参加登録:

- (1) 方 法
所定の「社会実装教育フォーラム参加登録用紙」に必要事項を記入し、(2)の担当宛に E-mail にて提出してください(FAX 又は郵送も可)。
- (2) 提出・問合せ先
東京工業高等専門学校総務課企画係
〒193-0997 八王子市櫛田町 1220-2
E-mail kikaku@tokyo-ct.ac.jp
FAX 042-668-5090 TEL 042-668-5133
- (3) 締 切
1次 平成 30 年 6 月 29 日(金)
最終 平成 30 年 9 月 28 日(金)

12. その他

- (1) 各チーム学生若干名並びに各校引率教員 1 名の旅費は東京高専負担(ただし、国立高専に限る。方法は経費配分)を予定しています。
- (2) 宿泊施設の斡旋は行いませんので、各学校または各自で手配してください。
- (3) 「建設現場実装プロジェクト」からの参加支援(予定)に関しては別途対応を予定していません。